



# pavlova

Southern Cross Language Institute

にゅーすれたー・いん・じゃぱにーず

2011年 夏学期号(第23号)

4/1/2012



## あなたはどれだけNZ人？

人前でも鼻をかめる。りんごは基本的に丸かじり。にんじんも生で丸かじり。夢の中で英語で話している…。家の中に入るときに靴を脱がない、もしくは外に出る時に靴をはかない。猫を呼ぶ時は思わず「ブスプス」と声をかけ、雨の日でも傘はささない。閉まってるドアは必ずノックしてからでないと開けられない。これらのことは、1年にわたって留学しているサザン生ならば、ニュージーランドの生活になじむにつれて多かれ少なかれ身についてくる「NZ人」性といったものなのですが、若い年齢でこちらに滞在することになったサザン生の中には、割と早い段階でこういった風習に染まっている人もいます。

かと思えば、意外なところに日本人としての慣習が顔をのぞかせたりします。よく外国人が、東洋人を見て、日本人かどうかを探り当てるのに、「相槌を頻繁にうつのが日本人だ」とか、「いつも笑っているのが日本人だ」という指標は古典的なものになっていますが、こういった習慣は、どんなに長く海外に住んでいても、消すのが難しい習慣だと思います。消す必要もないのですが。

ちなみに、私事で恐縮ですが、14年こちらに住んでいるわたしがどうしても捨てられない「日本人性」の最たるものは、「残り物が捨てられない」。NZ人は結構未練なくパーっと捨てちゃうんですね。こちらの方は、子供の残した皿から食べてるわたしに、「足りないの？もっとよそっておいでよ」と声をかけてくれるんですが、「これを捨てて新しくよそうわけにはいかん！」というのが日本人の「勿体ない精神」。こだわってます・笑

さておき、今回は、NZに住んで8ヶ月になるサザン生の皆さんに、こういったこまごまとした習慣のうち、なにが身についてしまっただけがなかなか抜けないか、ちょっと聞いてみました。もちろん、NZ人化してれば良い、日本人の習慣が抜けないと悪い、もしくはその反対のような問題ではなく、「Just a matter of interest (ちょっと興味があって)」なんですけど。  
(Yoshiko Lowry (アドバイザー))

### Happy Birthday...

### November ~December

Airi Kato	11月6日	Yukiho Nakamura	11月11日
Ayana Kondo	11月15日	Tae Niinomi	11月26日
Momona Murata	11月30日	Anri Kato	12月19日
Eri Katayama	12月24日	Honami Kondo	12月30日



おめでとう！

# あなたはどれだけNZ人？

全校アンケート調査

日本のもので手放せないもの、これは日本じゃなきゃだめなんだというもの。そういった日本への依存度はどのくらい？  
SCLL 全校生徒に聞いてみました。

**1. 今でも日本から送ってもらっている日本のものはありますか。**

ほとんどの人がYesと答えました。食料と答えた人がたくさんいました(味噌汁、ラーメン、うどん、ホストへのお菓子など。)

みんな日本食が恋しいみたいです。具体的に、大半の人が食料や生理用品を未だに送ってもらっているようです。その他には、ホストへのプレゼントや服、薬などがありました。

**2. 日本のものではないといけないものはありますか。**

これも大半の人がYesと答えました。

やっぱり生理用品は日本の物がいいようです。他にも文房具(特に0.3mmのシャー芯!)や洗顔なども。

**3. 週に何回日本食を食べますか。**

多くの人が週に1, 2回は食べると答えました。でも6名ほどの人は、全く食べないそうです。

ほとんどの人がKoscoというAsian Supermarketで日本食を買っています。

カレーはもちろんギョーザの皮なども買うことができます。

**4. 日本の家族、友達にどのくらいの頻度で連絡をとりますか。**

ほとんどの人が週に1, 2回(メールも含む)とっています。スカイプはとても便利なので、アカウントを作ってくることを勧めます。

**5. ニュージーランドでテレホンカードは買いましたか。**

半分ぐらいの人が旅行会社の人に高いカードを勧められて買いました。買った人はみんな後悔してます。ニュージーランドでも買うことができます。600円(10ドル)で380分くらい話すことができます。

**6. Face book は英語と日本語でどちらでやっていますか。**

ほとんどの人が英語でつかっています。

**7. 雨が降ったときに傘はさしますか。**

少しの雨ならささない人が多い。ニュージーランド化している人が多いのが現実です。

**8. ニュージーランドに来てからフルーツの食べ方は変わりましたか。**

ほとんどの人がYesと答えました。

特にりんごとぶどう。りんごは水で洗ってから丸かじりして芯だけ残す。

ぶどうは皮も食べる。日本では考えられないことですね。

日本のりんごはニュージーランドのりんごに比べて大きいです。

ぶどうは皮をむけるようなぶどうではないです。

9. 野菜とお菓子は日本かニュージーランドかどちらが好きですか。

野菜→ニュージーランド(圧倒的多数)

にんじんやグリーンピースなど、こちらに来てから食べられるようになったという人も。

お菓子→日本(カロリー低め・甘すぎない。)

NZのお菓子もおいしいけど、たまにハズレが…

10. 服のデザインとショッピングモールはどちらが好きですか。

服のデザイン→日本

モール→日本(お店の数が多い。)

NZの服もかわいくて安いんだけど、ちょっと質が悪い……かな？

11. NZの生活リズムか日本の生活リズムではどちらが好きか。

ニュージーランドが圧倒的多数。

日本の生活リズムはニュージーランドに比べて忙しいみたいです。

ニュージーランドに来てから朝方生活になった人がほとんどです。

12. テレビプログラムは日本かニュージーランドかどちらが好きですか。

ほとんどの人が日本のほうがいと答えています。

ニュージーランドのテレビは面白くないそうです。わらいのツボが日本人とニュージーランド人とは微妙に違うみたいです。

Survey & Article by Satoko and Kie

連載①公開しちゃいます・

## 2011年度

## 学校の行事

其三・ 10月～12月

### 10月

今年は一週間だけの短い春休みでしたが、たくさんのサザン生がスクールトリップに参加しました。Dunedinにあるチョコレート工場を見学したり、Queenstownではジェットボート、パラセーリング、ホースライディングなどのアクティビティーができ、みんな充実した春休みを過ごしたそうです。



### 11月

午後の授業のトピックの一つだった“Maori”について調べるために、午後の授業で Canterbury 博物館に行きました。博物館の方が館内を案内してくださり大昔のマオリ人の当時の技術も体験することが出来ました。博物館にはマオリだけでなくミイラなどいろいろ展示があるため、帰らずに残った生徒もいました。





9日から11日には Canterbury 一大イベントの一つの A & P Show が開催されました。ウッドチョッピングなどの催し物や、トラクターやヒツジ、アルパカなども見ることができます。会場だった カンタベリー農業公園はとても広く、毎年多くの人を訪れるそうです。10日にはサザン生みんまで行き、5グループに分かれて見てまわりました。それぞれのグループに各一人の先生かサザン生のホストペアレンツと一緒にまわり、生徒は NZ の農業について知ることができ、そしてたくさんの動物にふれあうことができました。

16日には Christchurch にある動物園 Orana Park に行きました。園内にはシマウマ、カワウソ、ミーアキャットなどの動物がいて、特にキリンに近づいてえさをあげることができて楽しかったです。お昼には外でサンドウィッチを作ってみんなで食べました。

26日は Hagley 公園でクリスマスコンサートが行われました。夜からでしたが人がたくさん訪れ、クリスマスツリーがあってステージはクリスマスデコレーションで飾られていて、NZ の有名な歌手が来たりダンスショーも見ることが出来たそうです。会場には家族連れやティーンネイジャーが多く、早くも Christchurch ではお店や街中が飾りつけられみんなクリスマスが待ち遠しいようです。



## 12月

4日には Riccarton Road を車が通れないように封鎖してサンタパレードが行われました。マーチングやサンタクロースが来て子供たちにお菓子やDVDなどプレゼントを渡しました。何人かのサザン生はプレゼントをもらうことができ喜んでいました。現地の日本人会による和太鼓やおみこしも参加してました！クリスマス¥におみこし…。何か大きな誤解を呼びそうです。

7日の午後は老人ホームに訪問し、コーラスクラブが歌を歌ったり、茶道などの日は日本舞踊を披露した生徒もいて、お年寄りの方々に暖かく歓迎されました。



15日には SCLI クリスマスコンサートが開かれ全てのクラスが劇を披露し、おとぎ話を元にしたり生徒たちで台本を考えたりしました。Greenstones は“Special Clever Lovely Illusion”、Gypcies は“Once upon a SCLI”、Geckos は“Sleeping Beauty”を披露しました。

生徒何人かはバレエ、ダンスを踊りとても盛り上がりました。テストもあって劇の練習、準備もしないといけなくて忙しい時期でしたが当日は生徒たちも楽しんで演じることができコンサートの最後には全員でクリスマスソングを歌い、成功した今年最後のコンサートになりました。

夏休み中には恒例の、ネルソン地方へのスクールトリップもあり、日本人観光客にも人気の Kaikoura、Nelson にキャンプに行きます。長い休みなので友達と計画をたてて、Auckland や NZ の首都 Wellington に旅行に行く生徒もいます。

# THE BIG EARTHQUAKE

## 連載②写真で追う復興の様子

細かい余震の絶えない中、大地震の襲った街の中心部の復興は、ゆっくりですが着実です。私が今回撮った写真は、バス・エキスチェンジが仮オープンした街の中心部の西側と、まだ許可がないと入ることの出来ない街の中心部東側の写真です。



10月25日に、Cashel Mallの近くに新しいバスエキスチェンジができました。その前までのバスストップが2つあり、一つは学校の近くでもう一つはハグレイパークの近くにありました。新しいエキスチェンジには設備がしっかり整っていて、簡単にバスの時刻をみることができます。

バスエキスチェンジの周辺は以前まで、ほとんどの建物が崩れていましたが、最近少しずつお店が再築されています。被害の大きかった Cashel Mall は、コンテナをイメージさせる背の低い店舗が多数リオープンし、土日には買い物客もたくさん訪れている様子です。



クライストチャーチの最高級デパート、Ballantynes も、リオープン。こちらも倉庫をイメージさせるような、簡素な造りに変身しました。



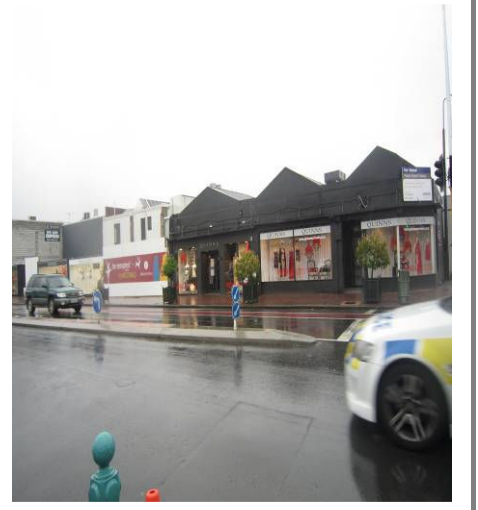
中心部東側は、引き続き許可なしには立ち入ることができない「Red Zone」です。更地になった場所が目立ち、解体中の建物も多数。2月のままで時のとまっている街では、Chinese New Year の赤いちょうちんが飾られたままでした。



Papanui Rd にはダメージを受けた建物が数多くありましたが、それが取り壊され、少しずつ再建されています



今年のサンタパレードは地震の影響のため、シティの中心でできませんでしたが、それでも楽しいパレードを開催することができました。(詳しいことはまみちゃんの記事にて)



Article by Kagari Kawaguchi, Photo by Kagari Kawaguchi and Mami Tomiyasu

# 教えて・あなたのKIWI度

わけあって日本への依存を捨てられない方。  
わけあってかなり Kiwi になりきっている方。  
それぞれのこだわり話、聞かせてもらいました！

## 日本食 LOVE 度100・！ももちゃんこと村田桃菜ちゃん★

ももちゃん×日本食はこの地でもかなり有名な話ですが、今回はその謎にせまりました！！

そんな彼女は日本食を現地で買うことはないそうです。ご両親やおばあさまが日本食が恋しくないか心配で送ってくれるんだそうです。「たくさん頼んでるわけではないけど、でも送ってくれると嬉しい」正直者ですね。

主に送ってもらってるもの： ミルキー(あんまり好きじゃないけど)、あられ(たくさん!)、ハイチュウ(多量!!)、インスタント食品・カップヌードル(ランチにって)「インスタント、送ってくれるけど料理できないから、家族にそのまま渡しちゃいます」なんだった！



### サッカー依存症度100・三浦愛実ちゃん★

ラグビーワールドカップ開催地にながらも、興味一つ示さずサッカーに夢中な彼女。ファイナルの間も川島選手、吉田選手のブログチェックをかかさなかったそうです！サッカーマガジン(もちろん英語)を買い、ファンレターも送る予定。「NZで試合は見ないけど、ファンはやめられません！！」最高ですね！（写真はバナナマイクでインタビューを受ける愛美さん→）



### やっぱり日本人だよね私？江崎乃愛ちゃん★

日本語をしゃべることにやっぱり抵抗がある彼女。それは当たり前だとして、総合的な意見が聞けるインタビューになりました。服はあんまりこっちでは買わないそうです。「日本から送ってもらいます。あ、でもコートと靴買いました。」なるほどね。じゃあ文房具は？「あ！それも日本のものですね。」文房具は日本のものもいい意見はたくさんでます！

### 99.9 いや、もはや 100%Kiwi girl！平田麻衣ちゃん★

ここに来たからにはやっぱり現地に染まろう！そんな彼女に聞いた興味深いインタビュー！！まずはファッション面について。「NZの洗濯機の機能があんまりよくないって聞いたから、お気に入りの日本の服とか持ってきてないんです。」どっから聞いた噂だろうか(笑) NZのファッション、タンクトップ、ショーパン、キャミなど好きなの？「大好き！！」あーなるほど。では生活面。英語しかしゃべらないよね？「日本語は絶対しゃべりません。」でも大変だよ？「楽しい！簡単な単語でも会話になるよね。」確かにね。うん。



Kiwi 度、日本人度は人それぞれ。なかなか面白いインタビューになりました！聞いてて楽しかったです。そんな私は日本の音楽から離れられません！もちろん好きなウエスタンロックバンドもぼちぼちありますけどね。

ありがとうございました！

Article and Interview by Haruka Mizutori



# SOUTHERN CROSS NEWS

## NZ・世界の頂点に立つ！ラグビーワールドカップ・感激の閉幕！

10月に閉幕を迎えた、ニュージーランド開催のラグビーワールドカップ。決勝は、後半戦ねばるフランスをわれらが All Blacks が僅差で逃げ切り、ニュージーランドが世界の頂点に立ちました。キャプテンの Richie McCaw が手にしたワールドカップにキスする閉会式に涙したサザン生も多数とか。翌日クライストチャーチで開かれた優勝パレードは、うまいぐあいに授業後、近くの通りで行われたため、生徒のほとんどが見物に出かけ、こ・ん・な・に・→近くでスター選手の写真を撮った生徒も…。ううむ、うらやましいぞ…



## クープマン先生からの贈り物・SCLI にバーベキューセットがやってきた！

ありそうでなかったバーベキューセット。生徒たちがパーティーの際に使えるようにと、クープマン先生が、地震後で大変な中、一つバーンと気前よく買って、学校に備え付けてくださいました。さっそくみんなで焼きソーセージを作って、初めてのバーベキュー・スクールランチを楽しみましたよ！  
これからも活躍予定のバーベキューセット君。  
次の出番は、創立25周年パーティーの予定です。

## クライストチャーチのおいしい水、復活！

地震後、上下水道の一部破損のため、やむおえず水道水に添加していた塩素が、今月あたま、完全復旧をうけて、打ち切られ、地下水をくみあげたおいしいクライストチャーチの水がもどってきました。このぜいたくな水源は、アルプスの雪解け水が長い期間をかけて地下にたまったものをくみ上げてもらわれる、クライストチャーチ市民の誇り。泣いて喜んだ地元民も。これからクライストチャーチを訪れるかた、ぜひ水道からのお水をご賞味あれ。

## 【編集委員紹介】(手前右から)

Satoko Inaba さん

Kagari Kawaguchi さん

Mami Tomiyasu さん

Haruka Mizutori さん (編集長)

Kie Kidokoro さん

編集後記: 行事の多い、忙しい春学期の編集で、あまりミーティングも出来なかったけど、本当によく頑張ってくれました。愛用ギターに名前をつけてる人とか、夜10時になると人格変わる人とかいて、濃い時間を過ごせました。

お疲れ様！

Yoshiko

